

令和4年2月16日

一般社団法人
日本建設業連合会 御中

防衛省整備計画局
施設計画課施設政策室長

第6回インフラメンテナンス大賞の応募について（依頼）

平素より大変お世話になっております。

標記大賞は、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、すばらしい事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及をはかることを目的に実施されております。

前回の第5回では、令和3年3月15日から6月18日まで募集が行われ、防衛省関連の自衛隊施設分野に7件の応募をいただき、優秀賞を受賞しております。

第6回においては、防衛省関連の自衛隊施設分野により多く応募いただけるよう貴連合会の会員の方々にご周知いただけますと幸甚です。

なお、本大賞の自衛隊施設分野において受賞された場合には、当省の入札制度における優秀工事等顕章等の実績として評価されることとなります。

- 参考：1 防衛省HP（令和3年12月3日付、第5回受賞者決定）
2 第5回インフラメンテナンス大賞紹介チラシ

令和 3 年 1 2 月 3 日
防 衛 省

インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！ ～第5回「インフラメンテナンス大賞」受賞者を決定～

防衛省では、国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰する「第5回インフラメンテナンス大賞」を公募していましたが、この度、同賞の受賞者が決定しました。

1. 「インフラメンテナンス大賞」とは

インフラメンテナンス大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンス」という。）に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

2. 応募状況及び審査結果

第5回目となる今回は、令和3年3月15日から同年6月18日まで募集したところ、247件の応募がありました。有識者による選考委員会（委員長：三木 千壽 東京都市大学学長）の審査を経て、以下の自衛隊施設分野における優秀賞を含む計33件（別紙）の受賞者が決定しました。

表彰の種類	部門	分野	応募者 (代表企業・団体)	応募案件名
優秀賞	技術開発 部門	自衛隊 施設	日本原料 株式会社	可搬型浄水装置による 新しい水道のかたち

3. 今後の予定について

令和4年1月21日（金）に各賞の表彰式を各省合同で開催する予定です。

4. 参考

令和2年7月1日より、防衛施設建設工事等における入札制度において、インフラメンテナンス大賞（防衛省案件）の受賞に関しては、優秀工事等顕彰等の実績として評価されることとなりました。

※ 防衛大臣賞4点、特別賞3点、優秀賞2点

防衛省案件

優秀賞

応募部門	ウ 技術開発部門	 <p data-bbox="1101 757 1412 784">『新しい水道のかたち』ご提案資料</p>
案件名	可搬型浄水装置による新しい水道のかたち	
代表団体名	日本原料株式会社	
(概要)	<p>汚れたろ過材は産業廃棄物として処分するという水処理の常識を覆す「シフォン洗浄技術」を生み出し、その技術を組み込んだ定置型浄水装置「シフォンタンク」を開発。さらに、配管や薬品注入装置、制御盤等を全てユニット化し、車両に載せて移動できる可搬型浄水装置『モバイルシフォンタンク』を開発したことにより、浄水施設の運転に不可欠な“ろ過材交換”というメンテナンス作業を不要にするだけでなく、災害時の応急給水活動をはじめ、全国の中小規模水道事業者が抱える課題の解決に取り組んでいます。</p>	

大臣賞受賞案件(抜粋)



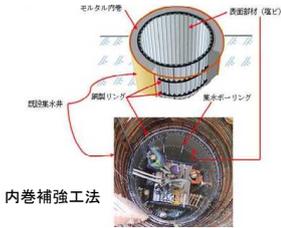
総務大臣賞
支障木調査の省力化のための
ドローン活用
北陸電力送配電株ほか



文部科学大臣賞
大学校舎におけるドローンを活用し
た非接触・非破壊点検手法の開
発と実装
国立大学法人金沢大学施設部



厚生労働大臣賞
水中ロボットによる配水池の不断水
工法での調査および清掃
一般財団法人日本水中ロボット調
査清掃協会



農林水産大臣賞
腐食した「集水井」の内巻補強工法
-老朽化した集水井を容易・迅速に
補強-
国立研究開発法人 農業・食品産
業技術総合研究機構



経済産業大臣賞
自立飛行型ドローンを活用し
た火力発電所煙突内部点
検手法の開発
関西電力株



国土交通大臣賞
ドライブレコーダーを活用した航空滑
走路の調査及び点検
㈱南紀白浜エアポート

募集要項

趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土・都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国のインフラが直面する老朽化やその対策に必要な担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を表彰するものです。

表彰の対象

以下のア～ウの3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者(個人及び施設管理者・企業・団体等の活動グループ)

ア メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫(ウに該当するものを除く)

イ メンテナンスを支える活動部門

アの取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動(ウに該当するものを除く)

ウ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法(点検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

表彰の種類

- 総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、防衛大臣賞
(原則各省別の部門ごとに1件、計21件)
- 情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞(1件)
- 特別賞(7件以内)
- 優秀賞(特別賞と合わせて最大28件程度)

応募期間

令和3年3月15日(月)から5月17日(月)(6月18日(金)まで延長)
※応募期間中にWEBフォームでの提出を完了してください。

受賞者の発表

受賞者の発表は令和3年秋頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。
※受賞者に対して表彰式を行います。

応募方法

応募はWEBフォームからの受付のみとなります。

[WEBフォームよりエントリー]

WEBフォーム上にて応募者情報の登録及び応募書類のアップロードをお願いします。ホームページよりログインの上、作成した応募書類をフォーム上にアップロードしてください。

お問合せ先

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課インフラメンテナンス大賞担当
電話番号:03-5253-8912 ・メールアドレス:hqt-taisho@gxb.mlit.go.jp